

省エネ



= 太陽光パネルを設置した住宅
一世帯分のCO₂削減量

1 不使用時の照明の消灯



- ・使用していないミーティングテーブルなどの消灯
- ・勤務時間外で人がいない席などの消灯
- ・人がいない場合のロッカー室やトイレの消灯

○ CO₂削減効果
昼休みに1時間消灯 ⇒ 年間で14トン削減 =  × 5

2 パソコン不使用時の電源オフや省エネ設定



- ・1時間以上離席する場合を目安にパソコンをシャットダウンする
- ・パソコンのディスプレイの輝度を低く設定する

○ CO₂削減効果
昼休みに1時間、約90%の職員がパソコンを
シャットダウン ⇒ 年間で14トン削減 =  × 5

3 冷蔵庫の温度設定の見直し



- ・冷蔵庫の温度設定を「強→中」や「中→弱」へ変更する

○ CO₂削減効果
夏期（7～9月）以外の月で温度設定を「強→中」に変更
⇒ 年間で0.9トン削減 =  × 0.3

4 「エコスタイル」の実施



- ・夏はノーネクタイや軽装（半袖シャツ、開襟シャツなどの着用）で涼しく、冬はカーディガン、保温効果の高いインナーウェア等で暖かく、服装を調節することで適切な空調の温度設定とする
- ・福岡市主催の会議では、外部の出席者にもエコスタイルを実施している旨を周知

働き方



= 太陽光パネルを設置した住宅
一世帯分のCO₂削減量

1 オンライン会議の活用



- ・ 遠方の相手方との会議においてオンライン会議を利用する

○ CO₂削減効果

各区役所と本庁舎の対面会議をオンライン会議に変更した場合

⇒ 年間で0.4トン削減 ⇒  × 0.1

2 ペーパーレス化



- ・ 電子決裁を徹底する
- ・ パソコンの持ち込みやプロジェクターの使用等で配布資料を削減

○ プリンタやコピー機の節電や印刷用紙の削減になるほか、資料や書類の検索が可能になる、紛失のリスクが低減する等のメリットがある

3 「環境保全ノー残業デー」の定時退庁

5月1日～10月31日

11月1日～2月28日



- ・ 毎週水曜日の全庁一斉定時退庁日に加えて期間中金曜日の定時退庁を徹底する

○ CO₂削減効果

「環境保全ノー残業デー」に2時間の残業をしなかった場合

⇒ 年間で11トン削減 =  × 4

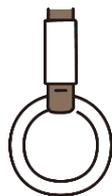
※削減効果は、本庁舎で取組みを実施した場合の試算

移動



= 太陽光パネルを設置した住宅
一世帯分のCO₂削減量

1 公共交通機関の利用



2 運転時のエコドライブの実施



3 自転車の積極的な利用



4 階段の積極的な利用



- ・ 外勤時は、地下鉄や電車、バスなどの公共交通機関を利用する
- ・ 通勤は、自家用車でなく公共交通機関を利用する

○ CO₂削減効果

片道10.5kmの自家用車通勤の日数を半減させた場合

⇒ 年間で60トン削減 =  × 22

- ・ 発進を緩やかにするよう心掛けることで燃費改善
- ・ 車間距離を適切に保ち、加速・減速を少なくする

- ・ 外勤時に、状況に応じて自転車を利用する

- ・ 上り2階、下り3階程度は階段を利用する

ごみ



= 太陽光パネルを設置した住宅
一世帯分のCO₂削減量

1 食品ロスをなくす



- ・ 食べ残しをなくすために、食べきれぬ量だけ買うようにする

2 マイバッグ・マイボトルの利用



- ・ マイバッグを持参し、レジ袋の利用を辞退する
- ・ マイボトルで飲料を持参し、ペットボトル飲料の購入を控える

○ CO₂削減効果

マイバッグ・マイボトルを実施した場合

⇒ 年間で6.3トン削減 =  × 2.3

3 リサイクルを徹底する



- ・ マニュアルに沿って、ごみと資源物との分別を徹底する
(例) ・ ペットボトルは、ラベルとキャップを外して出す
・ 小さな紙屑もリサイクルする

○ CO₂削減効果

家庭で出るペットボトル容器を全て分別してリサイクルした場合

⇒ 年間で14トン削減 =  × 5

生物多様性・啓発

1 「MY行動宣言」の実践



2 イベントにおける配慮・周知



3 再生可能エネルギーの周知



4 ロゴマークを活用した取組のPR



チャレンジ!
脱炭素社会

環境シンボルキャラクター
「エコッパ」



福岡らしく。
未来の
ために、
いま選ぼう。

- ・ 5つのアクション（Act1 たべる、Act2 ふれる、Act3 つたえる、Act4 まもる、Act5 えらぶ）を実践する
 - Act.1 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わう。
 - Act.2 自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然生き物にふれる。
 - Act.3 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝える。
 - Act.4 生き物や自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加する。
 - Act.5 エコラベルなどが付いた環境にやさしい商品を選んで買う。
- ・ リユース（又は非プラスチック素材等の環境に配慮した素材）の食器やカトラリーを使用する
- ・ 環境に配慮したイベントであることをパンフレットやポスター等で周知する
 - 「エコ・イベントふくおか」手引書を活用
- ・ 再生可能エネルギー電気を利用している市有施設では再生可能エネルギー電気を利用していることを施設内やホームページ等で周知する
- ・ 温暖化対策に関連する取組みの発信や、広報啓発等の際にロゴマークを活用